



世界農業遺産
「清流長良川の鮎」
認定10周年記念事業



『体験価値の創造』 『郡上に上流しよう！第二のふるさとプロジェクト』

郡上に上流！



- ・夏季に魅力的な長良川流域地帯の魅力をさらに活かす！
- ・他都道府県に負けない岐阜の魅力を発掘する！
- ・オーバーツーリズムになりすぎない、より良い観光のあり方を模索する！

提案する施策について

あゆパークの新しい体験価値
&
「上流しよう」第二のふるさとプロジェクト

体験価値

あゆパークに体験価値を作り出す

成功・時間・食を楽しむ新しいアクティビティ

施策内容（夏）

成功・時間・食を楽しむ新しいアクティビティ

①成功を楽しむ

単発的に短時間で楽しめるアクティビティ。
夏祭りの屋台のように、1つの空間の中にある
様々な種類のアクティビティを自分好みに選
んで楽しむことができる。

・自分で焼いて食べるあゆ

②時間を楽しむ

・川の音を楽しむハンモック

川辺に並べられたハンモック。
昼間は家族連れの親たちが子供の楽しむ声を聞
きながらゆったり休憩、日がくれると遊び疲れ
た若者が虫の声や川の流れる音を聞きながら日
常の疲れを癒します。

②食を楽しむ

・自然の中でビアガーデン

夏季休暇など若者の長期休暇をターゲットにしたビアガーデン。

都会の喧騒から離れ、友人たちと、落ち着いた会話を楽しむ時間を提供します。



①～③の体験内容に追加して、使われていない古民家や廃校を宿泊施設として利用します。

長野県や静岡県での日帰りと宿泊の観光費用の差額はおよそ3倍でした。維持費だけかかる利益を生まなかった建物が、新たな観光資源になります。

施策内容（夏以外）

・川の音を楽しむハンモック

川上にハンモックを設置し、水の冷たさや足の下を流れる紅葉を楽しみます。物としての思い出ではなく、体験価値を思い出として持ち帰ることができます。

「あの体験をもう一度」のために
あゆパークへ



「上流しよう」

「上流しよう」第二のふるさと プロジェクト

郡上と共に成長できる、郡上が第二のふるさとになる

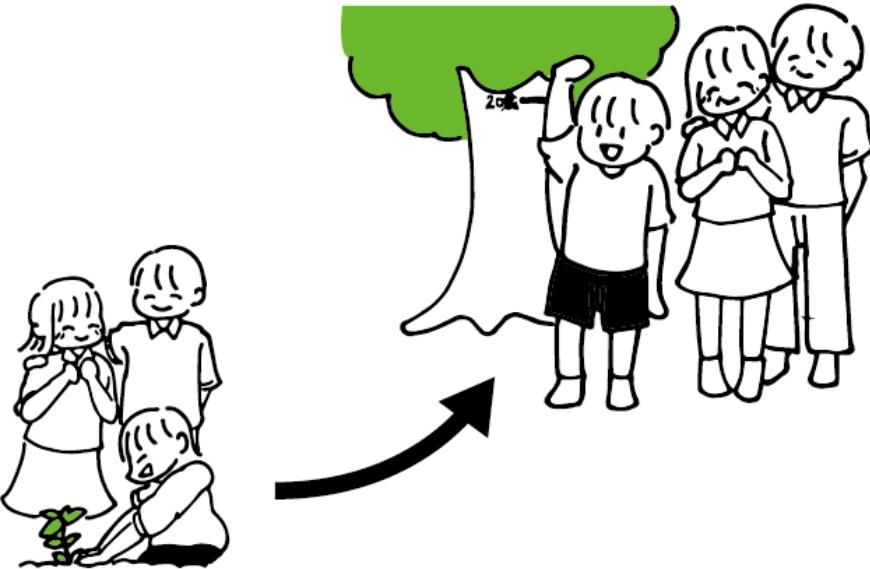
植樹体験＆木材クラフト

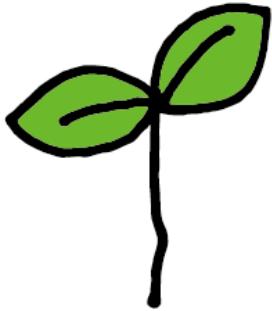
・10歳で植えた木、20歳で背丈比べ

初めに植えた木のために毎年郡上を訪れます。10年育てた木、背丈比べで勝てるかな。

端材を使って鉛筆やボールペンの軸など、自分の好きなものを作ります。

5年コース	カップルなどの記念日	¥20,000
10年コース	10歳から20歳(成人)	¥30,000
20年コース	生まれてから成人まで	¥60,000





かえって

木のために郡上に「上流してくる」
気づけば郡上は第二のふるさとに。

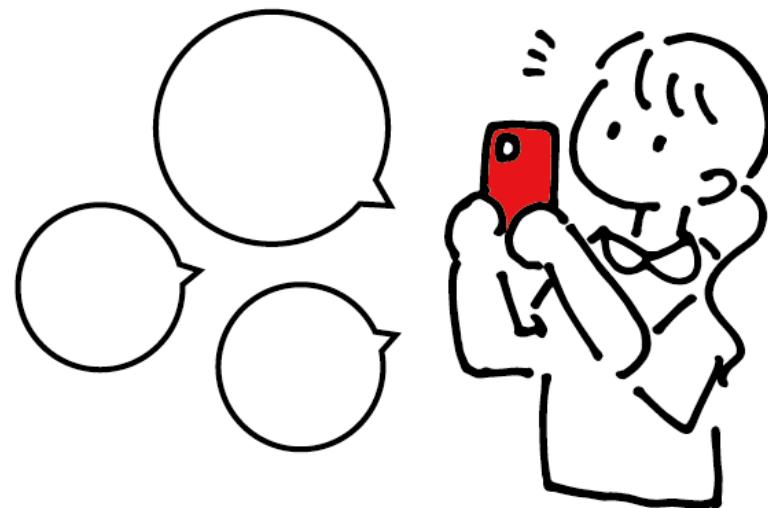
広報施策

- 既存のサイトに追加して Instagram やティックトックでの情報発信



Z世代向けにグルメ動画、Vlog 風など短時間で見れるものを投稿します。

さらに駅広告や居酒屋トイレにチラシを貼るなどして、大学生頃の年代を狙います。



持続について

地域住民を巻き込む施策

・地元の学生の働き先

あゆパークの様々なアクティビティの展開に伴い働き手を募集します。地元の学生のアルバイト先として活用することで、地元住民の中からも自然に興味を持てる人が現れるかも。

・あゆ民（観光客）の植樹育て

植樹した木を小学校の授業の一環として管理、お世話します。授業として自然に触れ、地元のことを知る機会が生まれます。

定期的に上流してくるあゆ民（観光客）は、植樹の手助けをしてくれる地元の小学生や大人たちと交流を深めます。

地元の人達と観光客で作る郡上

まとめ



世界農業遺産
「清流長良川の鮎」
認定10周年記念事業

体験価値の創造

鮎釣り以外にも自然を感じながらの
体験活動を増やす！

未使用の古民家を宿泊用に！

あゆのシーズン外でも
他の観光資源を使いながら経営

上流しよう

プロジェクト

記念のタイミングに植林。

1年に1度木の世話をするために
『上流』。

帰省により観光客増加、地域との
つながりの発展、植林活動による保全で
長良川流域地域で一石三鳥のメリット